

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-058844

(43)Date of publication of application : 09.03.1993

(51)Int.Cl.

A61K 7/04

A61K 7/16

(21)Application number : 03-296699

(71)Applicant : KAWAI JUN

KIRINO TOSHINARI

(22)Date of filing : 27.08.1991

(72)Inventor : FUJIHAMA SHIGERU

KAWAI JUN

(54) COMPOSITION FOR COSMETIC DENTISTRY

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a cosmetic dentistry composition comfortably applicable to the tooth, having high safety and little stimulation and easily removable with a removing liquid.

CONSTITUTION: The composition is composed mainly of a vinyl acetate resin, an acrylic copolymer, ethanol and, as necessary, a pearl pigment. It has excellent applicability, safety and removability satisfiable to the user and achieves the cosmetic dentistry effect.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-58844

(43)公開日 平成5年(1993)3月9日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K 7/04		8615-4C		
7/16		7252-4C		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 3 頁)

(21)出願番号	特願平3-296699	(71)出願人	591252208 川井 順 東京都八王子市めじろ台4丁目5番地の3
(22)出願日	平成3年(1991)8月27日	(71)出願人	591252219 桐野 利稔 大阪府泉大津市東助松町3丁目15番5号
		(72)発明者	富士浜 繁 大阪市阿倍野区三好町1丁目2番10号
		(72)発明者	川井 順 東京都八王子市めじろ台4丁目5番地の3

(54)【発明の名称】 歯科美容用組成物

(57)【要約】

【目的】 歯に心地よく塗布でき、安全性が高く、刺激性のほとんどない、除去液で、容易に除去可能な歯科美容用組成物である。

【構成】 酢酸ビニル樹脂、アクリル系コポリマー、エタノール、場合によりパール顔料を主成分とする組成物。

【効果】 使用心地、安全性、除去性いずれの点でも使用者が満足でき、美容効果が挙がる。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 酢酸ビニル樹脂、アクリル系コポリマーおよびエタノールを主成分とする歯科美容用組成物。

【請求項 2】 パール顔料を含有する請求項 1 記載の歯科美容用組成物。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明は、塗布することにより、歯に光沢、輝き、白さなどの美容効果を挙げる歯科美容用組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】現在の市販品は、酢酸エチル、酢酸ブチル、トルエンなどの揮発性有機溶剤を使用して、ニトロセルロース、アルキッド樹脂などの合成樹脂や可塑剤を溶解したものである。

【0003】これらの溶剤は揮発性、刺激性、有害性であり、口内粘膜に対する強烈な刺激、臭気、吸収による血液や脳への副作用など、使い心地、安全性いずれの点でも使用上の障害となっていた。

【0004】また形成膜が堅固に過ぎ、取除きに多量の除去剤（刺激溶剤）と労力を必要とする欠点があった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

①使い心地が悪い②安全性に不安③除去し難い、などの欠点を取除くことが本発明の解決しようとする課題である。

【0006】

【課題を解決するための手段】発明者は研究を重ねた結果、酢酸ビニル樹脂、アクリル系コポリマーをエタノールに溶解することにより、前述の課題を解決することができ、本発明を完成した。

【0007】まず、（1）エタノールが適度の揮発性を有し、刺激性ほとんどなく、安全性の高いこと、さらに特定の樹脂の溶解性能が優れているなど、本発明組成物の溶剤として最も適合していることを見出した。

【0008】次に、（2）エタノールに溶解し、安全性高く、形成皮膜が光沢性、強度、耐久性に優れているにも拘らず、エタノールによる除去も容易という優れた素材として酢酸ビニル樹脂を選定した。

【0009】酢酸ビニル樹脂は、通常食品添加物（チューインガム、皮膜剤、光沢剤）として使用されており極めて安全性が高い。

【0010】さらに、（3）酢酸ビニル樹脂に対してアクリル系コポリマーを使用すると、強固な皮膜が形成され、耐久性が増加し、しかも必要な場合にエタノールによる拭きとりが容易であることを見出した。

【0011】アクリル系コポリマーは、アクリル酸、メタアクリル酸とそれらのエステル、アミド、場合によりスチレンなど二つ以上の共重合体で、精製度が高く、急性、慢性の毒性、変異原性など十分に安全性が確認され

たもので、通常水性エマルジョンの形で使用される。

【0012】酢酸ビニル樹脂、アクリル酸コポリマー、エタノールの使用割合は、目的とする組成物の性状により選択されるが、重量%として、一般にそれぞれ、20～70%（好ましくは30～50%）、固形分として0.05～5%（好ましくは0.1～2%）、20～60%（好ましくは30～50%）である。

【0013】白さを強調するため、組成物にパール顔料（魚鱗箔、雲母チタンなど）1～15%を含ませることにより、さらに美容効果を挙げるができる。

【0014】主成分以外の成分（副成分）としては、パール顔料（場合により主成分）のほか、ゲル化剤、増粘剤、消泡剤その他の添加剤や、溶剤、水などが、使用心地や安全性に影響の出ない範囲で、必要に応じて使用される。

【0015】本発明の組成物を得るには、所要量の主成分、副成分を用意し、まず、エタノールに酢酸ビニル樹脂を加え、よく攪拌して溶液とする。次にこの溶液に副成分を順次加えて溶解し、最後にアクリル系コポリマーエマルジョンを添加し、均一な組成物とする。

【0016】以上本発明は酢酸ビニル樹脂、アクリル系コポリマー、エタノールを主成分とする組成物であって、①使い心地よく、②安全性が高く、③必要に際し容易に除去できる、美容効果の優れた歯科美容用組成物である。

【0017】

【作用】刺激性がほとんどなく、安全性の高いエタノール、酢酸ビニル樹脂およびアクリル系コポリマーを主成分としているために、使い心地と安全性に極めて優れた組成物となる。

【0018】エタノール溶液中、酢酸ビニル樹脂とアクリル系コポリマーとの相互作用により、揮発後強固で耐久性があり、しかも必要に際し、エタノールで容易に拭き取り可能な皮膜を形成する。

【0019】**【実施例】****実施例 1**

エタノール 400 g に酢酸ビニル樹脂 400 g を加えてよく攪拌溶解する。水 185 g を加えた後、アクリル酸エステルコポリマーエマルジョン（11%）15 g を加えて攪拌し、均一な組成物 1 kg を調製した。

【0020】この組成物を刷毛で歯に塗布すると、口内での刺激がほとんどなく、心地よく安心して塗布でき、光沢、輝きのある歯に美容することができた。形成した皮膜は 20 時間以上剥離することなく固定し、しかもエタノールで容易に拭き取ることができた。

【0021】比較例 1

市販品 H を実施例 1 と同様に塗布すると、溶剤の強烈な臭いと口内刺激により不快となった。形成皮膜は堅牢に過ぎ、刺激性除去剤による除去に手間がかかり、不快感

は増大した。使い心地、安全性、除去性いずれの点でも不満足であった。

【0022】実施例2

エタノール360gに酢酸ビニル樹脂480gを加えてよく攪拌溶解した後、水80g、無機ゲル化剤30g、パール顔料20gをこの順に加えて溶解分散し、さらにアクリル酸エステルコポリマーエマルジョン(45%)30gを加えて、均一な溶液とし、組成物1kgを得た。

【0023】この組成物を実施例1と同様に塗布すると、白く輝く美しい歯となり、使い心地、安全性、除去

性いずれの点でも満足できる状況であった。

【0024】

【発明の効果】本発明の組成物は、心地よく安心して塗布でき、歯に望ましい光沢、輝き、白さを与えて歯を美容することができる。また必要により、刺激のほとんどないエタノールで容易に除去できる。エタノールの抗菌性により、口内を清潔に保持する効果も期待される。

【0025】このように本発明の組成物は、使用者にとって、美と健康を保持するために、あらゆる点で満足できる理想的な歯科美容剤である。